

# 第86回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成26年11月20日（木）午後3時から

場所：杉谷キャンパス 薬学部研究棟Ⅱ 7階 セミナー室7

講師：鈴木文男 先生（広島大学名誉教授・富山大学客員教授）

演題：「放射線の人体に与える影響－福島原発事故と低線量放射線による発がんリスク－」

## 内容

放射線は透過性があり、僅かなエネルギーで重篤な障害を与えます。これは、主として人体を構成している細胞の核DNAが損傷を受けやすいことに起因しています。一方、環境放射線の被ばくを受けながら進化してきた人間には、DNA損傷修復機構や生体を維持するための様々な防御システムが備わっています。また、最近の遺伝子解析を中心とした分子生物学的研究により、細胞には異常細胞が除去される巧妙なDNA損傷応答システムを有することが明らかにされました。

放射線は高線量被ばくを受けない限り五感では感じられませので、一般の人にとっては怖い存在です。平成23年3月の東電福島原発事故がさらにそのような気運を増強させているようです。本講演では、これまで得られた放射線の生体影響に関する基礎的な情報と近年得られた種々の知見をもとに、原発事故などで問題視される「がんを中心とした低線量放射線の健康影響」について考察します。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またセンター放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

## ◎問い合わせ先

庄司美樹（アイソトープ実験施設長）

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp